

福島第一原子力発電所

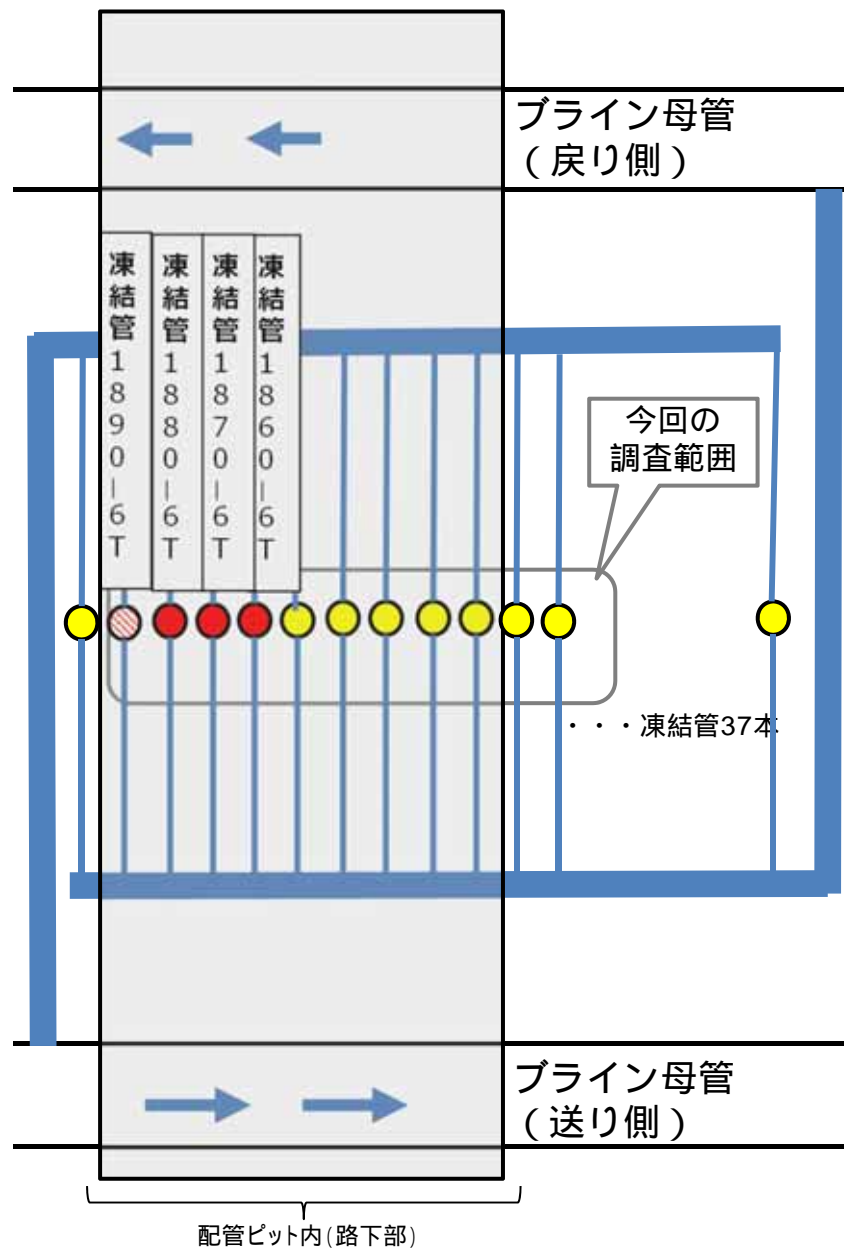
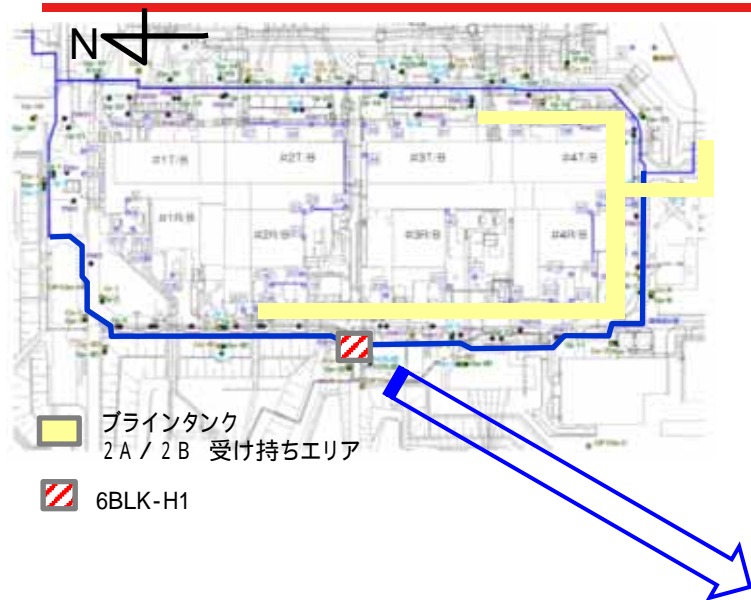
陸側遮水壁ブライントank水位低下に伴う調査状況について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 1 月 1 6 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 陸側遮水壁のブライン（冷媒）タンク2基（2A / 2B）の水位低下に伴い、6BLK（ブロック）-H1にある11本の凍結管上部にあるエア抜きバルブから、点検用ポンプを用いて1本ずつブライン液を注入し漏えい箇所の調査を実施しました。
- この結果、これまでに確認していた1箇所（1890-6T）に加えて、本日新たに凍結管上部にある継手部3箇所（1880～1860-6T）において、漏えい箇所を確認しました。
- 漏えい箇所については、今後、原因を調査し、問題がある部分を交換する予定です。
- なお、ヘッダー管6BLK（ブロック）-H1を隔離した1月8日以降、ブライントank水位に有意な変動はなく、また凍土壁の機能にも問題はなく、漏えい箇所が確認されなかった部分からブライン循環を再開しているところです。
- また、当該ブライントank 2基について、来週以降、ブラインを補充する予定です。



漏えい確認箇所



- 本日に確認した漏えい箇所
 (凍結管上部にある継手部)
- ⊗
 これまでに確認していた漏えい箇所
 (凍結管上部にある継手部)